

第40回

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 全国(福岡)大会及び研修会

大会テーマ

アーカイブズ資料の広範な公開を
目指して

期 日 平成26年11月13日(木)・14日(金)

会 場 九州大学箱崎キャンパス 旧工学部本館
福岡共同公文書館 福岡市総合図書館

主 催 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
共 催 九州大学大学文書館
九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻(予定)
後 援 独立行政法人国立公文書館
福岡県・福岡市・福岡県自治振興組合(予定)

開催要項

- 1 期 日 平成 26 年 11 月 13 日(木)・14 日(金)
- 2 主 催 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
- 3 共 催 九州大学大学文書館, 九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻(予定)
- 4 後 援 独立行政法人国立公文書館, 福岡県, 福岡市, 福岡県自治振興組合(予定)
- 5 会 場 九州大学箱崎キャンパス旧工学部本館
〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 TEL:092-642-2292(九州大学大学文書館)
福岡共同公文書館
〒818-0041 筑紫野市上古賀 1-3-1 TEL: 092-919-6166
福岡市総合図書館
〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3-7-1 TEL: 092-852-0600
- 6 内 容 (1) 総会
(2) 大会テーマ研究会, 自由論題研究会
(3) 研修会(福岡共同公文書館, 福岡市総合図書館視察を含む)
(4) 機関会員・協賛企業展示, ポスターセッション
(5) 交流会
- 7 申込方法 「参加申込方法」(p.8)をご覧ください, 全史料協ウェブサイトのオンライン申込みフォームを利用して
お申し込み下さい。オンライン申込みが難しい場合は, 別紙「申込書」を大会・研修委員会事務局ま
で郵送又は FAX にてお申し込みください。
- 8 その他 (1) 会員相互の親睦を図るため, 参加者名簿(氏名・所属[機関名又は都道府県名])を作成しま
す。申込時に名簿掲載の可・否をご記入ください。記入がない場合は掲載しないこととしま
すが, 名簿作成にあたっては個人情報の保護に十分配慮し, その用途を本大会に限定しますの
で, 趣旨をご理解の上, 掲載にご協力ください。
(2) 手話通訳等の介護措置を希望される方は, 申込時に通信欄にその旨をご記入ください。

会 場

○九州大学箱崎キャンパス旧工学部本館

JR 鹿児島本線 箱崎駅 徒歩 2 分
地下鉄箱崎線 箱崎九大駅 徒歩 2 分

○研修会視察地 (地図・アクセス方法は p.4 に掲載)

- A 福岡共同公文書館
- B 福岡市総合図書館



大 会 日 程

11月13日(木)		時刻	11月14日(金)	
集 合			受 付	
9:00~9:30			9:00~9:30	
[研修A] 視 察 福岡共同公文書館 9:30~11:00	[研修B] 視 察 福岡市総合図書館 9:30~11:00	9:30	[調査・研究委員会報告] 「公文書館機能の普及をいかに進めるか」 9:30~10:20	
移 動 ・ 昼 食 ・ 休 憩			休 憩	
(展示等会場設営 10:00~) 受 付 11:00~ 展 示 ・ ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン 11:30~13:00		11:00	[自由論題研究会:A] 10:30~11:40 福岡共同公文書館の 設置と活動の現状	[自由論題研究会:B] 10:30~11:40 九州大学における大 学アーカイブズの歴 史・現状・課題
[研修C] 13:00~14:00 アーカイブズ入門	[研修D] 13:00~14:00 地域資料・古文書の 取り扱い	13:00	昼 食 ・ 休 憩 ・ 展 示 ・ ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン 12:00~13:20 ※九州大学大学文書館・記録資料館等の 随時見学	
休 憩		14:00	[大会テーマ研究会] 「アーカイブズ資料の広範な公開を旨し て」 趣旨説明 13:20~13:30 報告① 13:30~14:00 報告② 14:00~14:30 <休憩 15分> コメント 14:45~15:05 討 論 15:05~16:20	
[研修E] 14:10~15:10 市町合併文書の整理 ・保存	[研修F] 14:10~15:10 災害に備えた民間資 料の所在調査	14:10		
休 憩 (展示・ポスター)		15:10		
15:10~15:30		15:30		
総 会		17:20	閉会行事	
15:30~17:20		18:00	16:20~16:30	
移 動		20:00		
交流会				
(福岡リーセントホテル) 18:00~20:00				

11月13日(木)

■研修会 視察(A・B 9:30~11:00)

A 福岡共同公文書館

平成24年4月1日、公の施設として条例で設置された「福岡共同公文書館」(福岡県立公文書館及び福岡県市町村公文書館を総称したものは、同年11月18日に開館しました。

開館後、ようやく3年目を迎える公文書館ではありますが、県と市町村が共同で設置・運営するという全国初の取組事例の観点から、共同で設置し、運営することについての理解を少しでも深めていただければと考えております。

視察では、当館の概要説明と閲覧室や展示室などの一般利用スペース、歴史公文書の受入れ、整理、保存を行う作業スペースを見学していただきます。



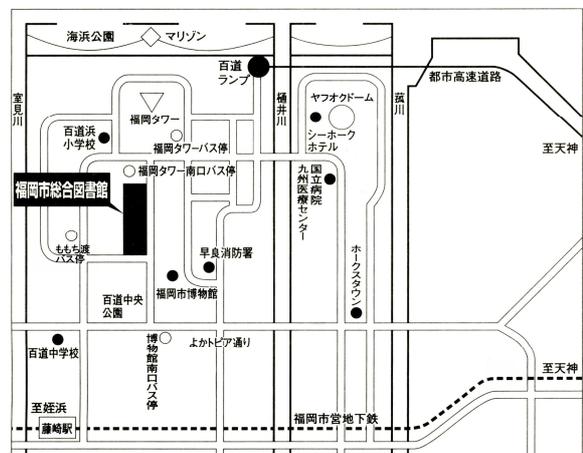
【交通】

- ・ JR 鹿児島本線ご利用の場合
JR「二日市駅」下車、徒歩約13分又は西鉄バス山口・平等寺・むさしヶ丘団地行、警察署前下車徒歩約1分
- ・ 西鉄大牟田線ご利用の場合
・「西鉄二日市駅」下車、西鉄バス山口・平等寺・むさしヶ丘団地行、警察署前下車徒歩約1分
・「西鉄紫駅」下車、徒歩約15分

B 福岡市総合図書館

福岡市総合図書館は、図書・映像・文書3部門で構成される、新しい型の図書館として、平成8年6月、早良(さわら)区百道浜(ももちはま)に開館しました。文書資料部門が、本市の“公文書館”としての役割を果たしています。

一つ建物の中で3部門がそれぞれの業務を行っているため、利用者の利便性が高い一方、業務の遂行が難しい部分もあります。視察では、公文書と古文書資料それぞれの収集、整理・保管と公開に係る業務の状況や、図書館機能との関係等についてご案内する予定です。



【交通】

- ・JR 博多駅から 博多バスターミナル 1階5番のりばから西鉄バス 福岡タワー、藤崎方面行き(312番等)「福岡タワー南口」下車 徒歩約5分
- ・天神から 天神バスセンター前1A のりばから西鉄バス福岡タワー、藤崎、のこ渡船場方面行き(W2, 302番等)「福岡タワー南口」または「博物館南口」下車 徒歩約5分
- ・市営地下鉄藤崎駅から 藤崎バスターミナル1番のりばから福岡タワー方面行き「ももちはまクリニクゾーン」または「福岡タワー南口」下車 徒歩約5分

■研修会（C・D 13:00～14:00 / E・F 14:10～15:10）

C 「アーカイブズ入門」

針谷 武志 氏（別府大学文学部教授）

アーカイブズ初心者向けの概論です。アーカイブズの歴史や現在のアーカイブズ事情を中心に、外国や国内の事例をなるべく多く紹介しながら説明します。法令条規やレコードマネジメントとの関連、デジタルの問題などにもふれたいと思います。

D 「地域史料・古文書の取り扱いについて」

江島 香 氏（柳川古文書館学芸員・市史編さん係長）

柳川古文書館は昭和 60 年に開館した施設で、福岡県から指定管理者として指定を受け柳川市が管理運営を行っている。設置の趣旨に「歴史を生のまま語る貴重な古文書等の史料を収集、保存、整理」し、活用する場であることが定義され、その趣旨にそって活動を行っている。あわせて平成 5 年度から柳川市で自治体史編さんを開始し、館の学芸員が事務局として事業を担当している。本報告ではそうした事例をもとに、地域史料の取り扱いや、地域における史料保存施設の在り方を考えてみたい。

E 「市町合併文書の整理・保存～天草アーカイブズの事例～」

橋本 竜輝 氏（天草市総務課天草アーカイブズ管理係主査）

天草市は、平成 18 年に 2 市 8 町での市町合併を経て誕生しました。合併以降、当館では、合併時に一斉収集した大量かつ多様な旧自治体文書をいかに整理し、公開に向けた管理・保存を行っていくのが最大の課題でした。

この講義では、課題解決に向けた現在に至るまでの試みや、文書管理全体を見据えた取り組み等、公文書館を有する合併基礎自治体の一例として紹介し、実務の中で見えた新たな課題について考えてみます。

F 「防災対策と民間資料の所在調査」

平井 義人 氏（前大分県立先哲史料館長）

東日本大震災以来各自治体の防災対策は見直しを迫られ、各地域独自の災害史を踏まえることが前提となり、そこに、自治体自らが行政課題として民間資料の調査を行う必要性が生じてきた。本講では、そのような防災施策に関わることによって民間所在資料の調査・保存が行政自らの課題であることを認識させ、地歩を固めることに成功した大分県立先哲史料館での実践事例を紹介し、行政が民間資料の保存に関わることの意義について述べる。

■ 交流会 ■

交流会会場へは、各自で移動してください。

会場： 福岡リーセントホテル
地下鉄「箱崎宮前駅」
3 番出口より徒歩約 3 分
時間： 18:00 - 20:00
会費： 6000 円
(大会受付時に同時徴収)



11月14日(金)

■大会テーマ

アーカイブズ資料の広範な公開を目ざして

■調査・研究委員会報告（9:30～10:20）

「公文書館機能の普及をいかに進めるか ―取り組みの成果と課題―」

小川 正人 氏 ・ 小高 哲茂 氏（全史料協調査・研究委員会）

近年の調査・研究委員会では、公文書館機能の普及に向け、公文書館機能の自己点検指標（「ミニマムモデル・ゴールモデル」）の策定や、国内各地での公文書館機能普及セミナーの開催などに取り組んできました。今期（2013-14年度）も、この流れを受け継ぎ、2013年度は北海道札幌市でセミナーを開催するとともに、公文書館専門職員実態調査アンケートの実施などを行い、今年度は、6月に岩手県盛岡市でセミナーを開催し、現在、公文書館機能普及のための手引き（『公文書館をつくろうー未来へ残し、伝えるための機能整備ー』）の作成に取り組んでいます。

今回は、昨年度からのセミナー開催と今年度の「手引き」作成に焦点を絞り、ここまでの委員会の活動の成果とそこから考えられる今後の課題などについて報告します。

■自由論題研究会（A・B 10:30～11:40）

A 「福岡共同公文書館の設置と活動の現状」

小原 康弘 氏（福岡共同公文書館長）

福岡共同公文書館（福岡県立公文書館及び福岡県市町村公文書館を総称したものは、県と市町村が共同で設置・運営するという全国初の取組として、平成24年11月18日に開館し、ようやく3年目を迎えるところです。報告では、共同で設置し、運営するということは具体的にどうということかを概観します。主な内容として、当館の設置に至る経緯、運営の実情、見えてきた課題、今後の方向性などについて触れたいと思います。

B 「九州大学における大学アーカイブズの歴史・現状・課題」

折田 悦郎 氏
（九州大学大学文書館・大学院人文科学研究院）

九州大学大学文書館は2005年4月に設置されたが、その前身は1992年12月の九州大学大学史料室であり、それはまた1985年5月の九州大学75年史編集室にさかのぼる。本講演ではこのような九州大学の大学アーカイブズについて、その歴史を振り返り、アーカイブズとしての位置付けや活動の特徴、現状と今後の課題等について報告したい。

■大会趣旨説明（13:20～13:30）

大会・研修委員会

第40回を数える今回は、資料の公開をめぐる現状と課題を取り上げます。各地の自治体で歴史的公文書等の保存管理に関する法的整備が進み始めたいま、公文書や古文書の人々への確に、より利用しやすい形で届けるための方法や問題点について、文書館におけるデジタルアーカイブ事業の最新事例とともに考えます。多くの方々の参加をお待ちしています。

■全体会（13:30～16:20）

報告①「東寺百合文書のデジタル化とWeb公開」

小森 浩一 氏（京都府立総合資料館歴史資料課資料主任）
（13:30～14:00）

平成24年度から25年度にかけて、京都府立総合資料館では、所蔵する国宝「東寺百合文書」全点のデジタル化事業を実施しました。同文書は、日本を代表する中世古文書群の一つで、その数はおおよそ25,000通にもおよびます。事業によって得られた約80,000カットのデジタル画像は、高精細のままWeb上に公開しました。現用当時の保管秩序を保ちながら現在に伝えられた貴重なアーカイブズとして、ユネスコ記憶遺産の登録候補にも選ばれた東寺百合文書の保存と公開の取り組みについて報告いたします。

報告②「デジタル・アーカイブズによる琉球政府文書の公開と普及をめざして」

上原 こずえ 氏・土井 智義 氏（株式会社 Nansei 琉球政府文書デジタル・アーカイブズ推進事業（沖縄県委託事業）調査普及担当）
（14:00～14:30）

米国統治期の沖縄では、米国民政府の管理下に住民側行政機構として琉球政府が設立され、歴史の大きなうねりの中で膨大な公文書が生み出されました。沖縄県では、沖縄県公文書館所蔵の琉球政府文書をデジタル化し、インターネットで公開するべく準備を進めています。また、研究員による普及活動も行っています。今回は、普及担当者が事業の内容について報告します。

コメント

生貝 直人氏（東京大学特任講師・東京藝術大学特別研究員）
（14:45～15:05）

質疑討論

（15:05～16:20）

■閉会行事（16:20～16:30）

■ 機関会員出版物等展示・協賛企業展示・ポスター展示（3F 特設会場） ■

会員機関の刊行物やパンフレット、協賛企業の取扱品・図書・出版物等を展示します。また、機関会員の事業等の紹介や、個人会員の研究をまとめたポスターも掲示します。

ポスターセッションは、コアタイムを13日(木)11:30～13:00、14日(金)12:00～13:30に設定しました。この時間帯にはポスターの展示者が、発表形式で説明を行うとともに、自由な意見交換ができます。

情報収集や交流の場として、多くの皆様に会場に足を運んでいただきたいと思います。

参加申込方法

1 大会参加について

(1) 参加区分と各参加費

参加区分	大会参加費	資料代	交流会参加費	
会員	無料	1,000円	6,000円	共催団体関係者含む
非会員	1,000円	1,000円	6,000円	

(2) 研修会(視察を含む)・自由論題報告は、ご希望のコースをそれぞれお選びいただき、「申込書」の該当箇所に○を付けてください。

* 研修会A(福岡共同公文書館視察)は、申込先着順 60 名まで、研修会B(福岡市総合図書館視察)は、申込先着順 40 名までとします。何卒ご了承下さい。

* 自由論題研究会・研修会については、会場の都合により、申込時の希望とは異なる会に参加していただく可能性があります。

研修会(視察含む)・研究会参加の希望が容れられなかった方については、個別にご連絡します。

(3) 交流会への参加・不参加は、申込時に合わせて指定してください。

2 お申し込み先・お問い合わせ先について

(1) お申し込み先・お問い合わせ先

全史料協ウェブサイトのオンライン申し込みフォームを利用してお申し込み下さい。オンライン申し込みが難しい場合は、別紙「申込書」を大会・研修委員会事務局まで郵送又は FAX にてお申し込みください。

全史料協ウェブサイト: <http://www.jsai.jp/>

郵送/FAX 送付先: 全史料協大会・研修委員会事務局

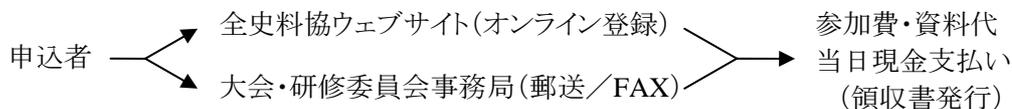
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1

毎日学術フォーラム内

TEL: 03-6267-4550 / FAX: 03-6267-4555

E-mail: maf-jsai@mynavi.jp

(2) お申し込み処理の流れ



3 申し込み締切 **平成26年10月10日(金) 必着**

締切日を過ぎた場合は、当日会場にて直接参加手続きをしてください。

4 その他

宿泊ホテルについての斡旋および昼食手配は行いません。参加者各自にて手配下さい。